

舞鶴市污水中継ポンプ場監視通報装置更新工事公募型プロポーザル評価基準

舞鶴市污水中継ポンプ場監視通報装置更新工事公募型プロポーザル評価基準（以下「評価基準」という。）は、最優秀提案事業者（工事事業者決定のための優先交渉権者）及び優秀提案事業者を選定するにあたり、客観的に評価するための基準として示すものである。

1. 評価基準

項目ごとの配点は別表「舞鶴市污水中継ポンプ場監視通報装置更新工事公募型プロポーザル評価基準表」のとおり。

2. 審査の方法

(1) 評価における得点化方法

- ・項目ごとに定量化評価を行い、評価できる場合はその項目に定める得点を付与する。
- ・評価項目の内、提案見積額に関する事項については、次の内容で得点化する。

提案見積金額が、委託業務内容に適合した履行がされない恐れがあるなど低額な場合、応募者に対し見積り内容のヒアリング等を行うことがある。

見積価格に関しては最低提案見積額を満点とし、他は（配点×最低提案見積額÷当該提案見積額）を得点とする。

ただし、最低提案見積額には得点算出上の下限額（非公表）を設定し、下回った見積りが複数あった場合はすべて満点とする。（少数第1位切り捨て）

(2) 提案見積金額に関する事項以外の評価項目における得点化方式

定量化評価においては、各項目について次に示す5段階評価による得点化方法により得点を付与する。

配点	評価の判断	得点化方法
5	特に優れている	配点×評価項目係数
4	優れている	配点×評価項目係数
3	普通	配点×評価項目係数
2	やや不十分	配点×評価項目係数
1	不十分	配点×評価項目係数

※評価項目係数については項目ごとに重要度を定め決定する。（非公表）

舞鶴市污水中継ポンプ場監視通報装置更新工事公募型プロポーザル評価基準表

【別表】

評価項目		得点	審査の観点
システムの概要・機能・性能	システムの概要	10	事業規模に十分対応できる容量、処理能力を備えたものであるか
			複数の通信方式から選択可能か
	システムの表示・操作機能	30	操作性に優れているか
			各施設を一覧で表示可能か
			各施設を処理区ごとに表示可能か
			スマートフォン等端末で容易に画面閲覧・操作可能か
	システムの性能・仕様	80	毎日自動で日報作成、毎月自動で月報作成、年報作成を行えるか
			閾値判定、AI 判定による機器の故障予測機能を備えているか
			将来の技術者不足に向けたアシスト機能があるか
			警報メールの確認者氏名と確認時刻を通知可能か
			警報の見落とし防止機能があるか
			警報メールの確認がなかった時の音声通報が可能か
			運転、水位、電流グラフが見やすく一覧表示可能か
			晴天時、雨天時のデータより不明水の影響を評価可能か
			設備台帳を備えているか
			設備の点検、修繕記録を管理可能か
			ストックマネジメントに利用可能か
システムの安全性	システムの信頼性・セキュリティ対策	40	自治体向けに監視・警報システムを納入した実績があるか
			データセンターの災害対策は十分か
			ログイン時のセキュリティ対策があるか
			通信回線、データ回線のセキュリティ対策は十分か
	保守及びサービスの運営	50	通信異常時でもデータ欠損がないような仕組みがあるか
			端末機器故障時の復旧に必要な費用と掛かる時間が短い
			長期間(10 年以上)稼働させるための保守体制がとられているか
			通報先の連絡先の変更が容易か(ユーザーにて変更可能か)
その他	システムの拡張性・将来の発展性	40	ポンプ場の設定変更が容易か
			クラウド上の情報をもとに機場の維持管理を含めた相談が可能か
			維持管理の業務量を軽減させる工夫があるか
			監視施設増加に伴う対応が可能か
	見積額	50	監視システムの改良や機能拡充等、ユーザーのニーズをくみ取り時代に併せてブラッシュアップしていく意欲があるか
			職員(維持管理業者)への研修等サポート体制があるか
			仕様書に記載のない内容について有益な提案がなされているか
		300	設備導入費用
			ランニング費用
			180 点以上を候補者の条件とする

※見積価格に関しては最低提案見積額を満点とし、他は（配点×最低提案見積額÷当該提案見積額）を得点とする。

ただし、最低提案見積額には得点算出上の下限額（非公表）を設定し、下回った見積りが複数あった場合はすべて満点とする。（少数第 1 位切り捨て）

※評価内容に記載されているサービスや作業内容について、対応するにあたって別途料金が必要な場

合は項目ごとに申告し、想定される内容の見積書を提出すること。